

会議議事録

会議名	令和4年度 第1回 学校関係者評価委員会	専門学校 東京工科自動車大学校
開催日時	令和4年7月6日（水） 18:00 ～ 19:00	
会場	専門学校東京工科自動車大学校 123教室	
参加者	委員 (敬称略)	7名 (出席:6名)浅古純一・木村友子・荻野嘉彦・鈴木賢司 ・森田憲・嶋田章二 欠席:吉本敏久
	事務局	3名 佐々木章・松村道隆・園田幸祐
会議録	<p>1. 校長挨拶</p> <p>・開催に向けて校長佐々木より挨拶が行われ、当校のコロナ関係事項について報告、説明があった。</p> <p>2. 委員会成立の確認</p> <p>・事務局より参加者の確認が行われ、委員7名中6名出席、1名の欠席で本委員会の成立が承認された。</p> <p style="padding-left: 2em;">出席6名、欠席1名のため、委員会成立を宣言</p> <p>3. 議長及び書記選出</p> <p>本委員会の成立を受け浅古委員が委員長として立候補、承認された。また、書記として木村友子委員の承認が得られた。</p> <p>4. 議事</p> <p>①前回議事録確認(松村)</p> <p>事務局松村より前回議事に関して説明がなされ、各委員からの承認を受けた。</p> <p>②2021年度自己評価報告の評価結果について(松村)</p> <p>事務局松村より、昨年度の自己評価報告の評価結果が示され、全員より適正な評価を頂いたことを報告。また、その結果をホームページにて公表することの説明があった。</p> <p>③2021年度実績報告(園田)</p> <p>園田科長より以下の実績報告があった。</p> <p>・FD・SD実施状況報告</p> <p>教職員の講習会等実施状況の報告がされた。R3年度はコロナの影響で講習会や研修会自体の開催が減少し、またコロナの影響によりオンラインでの実施が多いことも説明があった。</p> <p>・就職実績</p> <p>R3年度の就職に関し、就職希望者全員が就職したことを報告した。</p> <p>また今年度もすでに約90%内定していることも合わせて報告があった。</p> <p>・資格取得</p> <p>1級自動車整備士は23名が受験し22名が合格した。2級整備士は1名が両方不合格となった。</p> <p>④2022年度事業計画について(佐々木)</p>	

佐々木校長より、今年度の事業計画目標(概要)について説明があった。
また、主な年間予定について、コロナの影響により暫定ではあるが、現在予定されている行事等について説明がなされた。

⑤その他 意見交換

・学生募集に関し、大学卒業してから専門入学し、ディーラー就職は出来るか質問(浅古)
→当校では、大学卒業者も退学者も受け入れており、就職も問題なく出来ている。

→採用側として、年齢給に差は出るが、採用にあたって問題はない(森田委員)

・整備士不足と早期退職者問題について

整備士のなり手が少ないだけでなく早期退職者が多い事が問題となっている(鈴木委員)

→整備士の重要性が認められながらも、将来不足する事が判明しているのに賃金は相変わらず低い。国交省が高校を巡回して整備士の魅力を伝えても賃金が低いままでは増えないと思う。(浅古)

→メーカーの保証賃金(リコール等)は20年以上変更がない。サービス売り上げの多くを占めているメーカー保証賃金を上げるだけでも整備士賃金に反映できる。

会社としてメーカーに働きかけている。(森田)

・コロナの影響で町内行事が中止となっていたが、今年は実施する方向で検討している。

→学校としても、これまで同様お手伝いをしていく。(コロナの影響がない範囲で)

5. 報告事項

佐々木校長より、文科省委託事業について、簡単な説明があった。

・都立練馬工業高校との教育連携授業(6年間)

・堀越高校との教育連携

・令和4年度文科省委託事業「ARを活用した自動車整備の演習・実習コンテンツ開発」

高校との教育連携で自動車分野は今のところ当校だけが行っている。

他分野では、日本工学院や日本電子などが連携を進めている。

事務局より、次回、第二回学校関係者評価委員会は11月10日(木)と連絡

6. 閉会

以上

会議風景

